



支柱回転式門扉

片開き・両開き

組立施工マニュアル

安全にお使いいただくために必ずお守りください。

施工上の注意とお願い

- ❗ 施工に関しましては必ず「組立・施工マニュアル」に従って工事を行ってください。
- ❗ 組立完了後に再度組付けボルト、ビス類の締め具合を確認してください。さらに車輪部など可動部に不具合がないかチェックしてください。
故障や事故の原因になります。

⚠注意 みだりに改造や変更をしないでください。
故障や事故の原因になります。

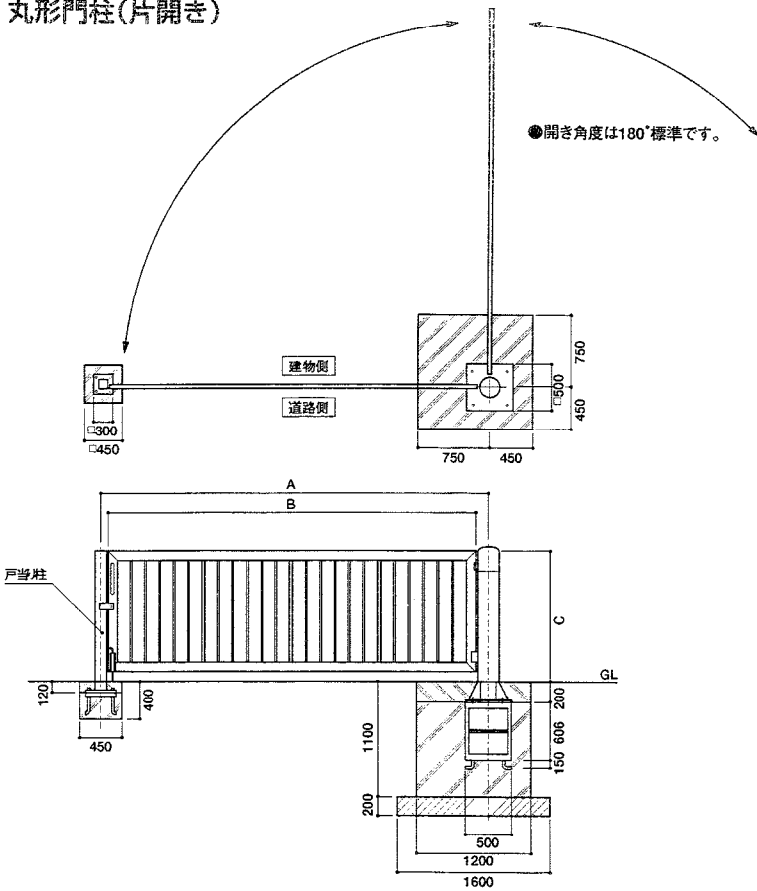
埋込み深さはレール埋設図に表示していますが、軟弱な地盤には、基礎部のコンクリートの量（体積）及び配筋を十分考慮してください。
損傷の原因になります。

施工の前に

- 本組立施工マニュアルをよくお読みになり、お買い上げの型式の梱包数と部品をお確かめください。

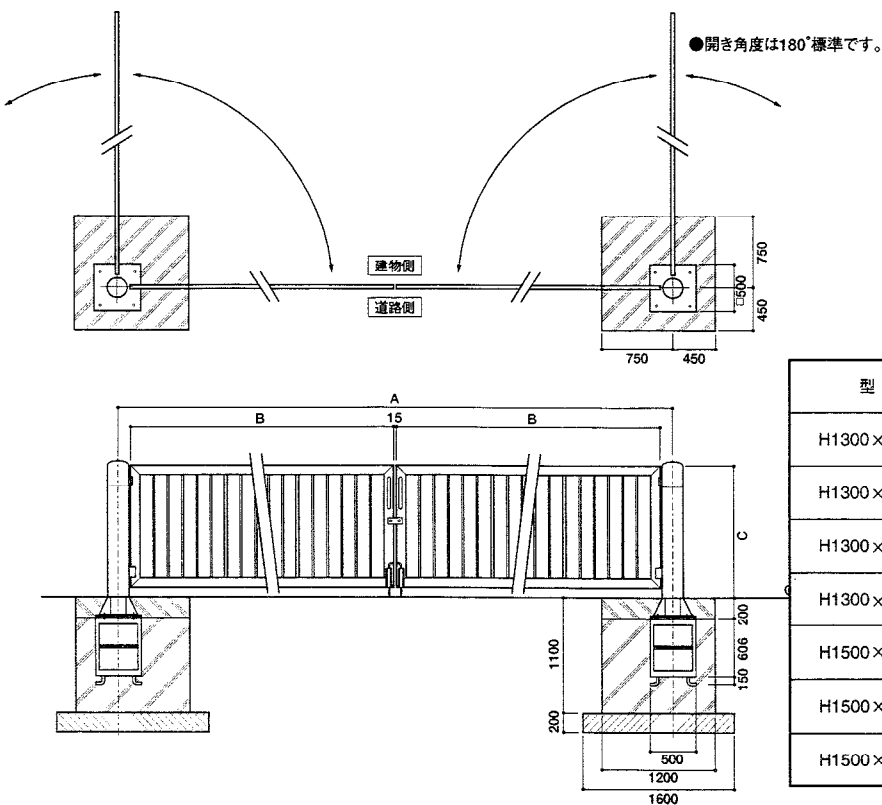
外観図及び基本寸法

丸形門柱(片開き)



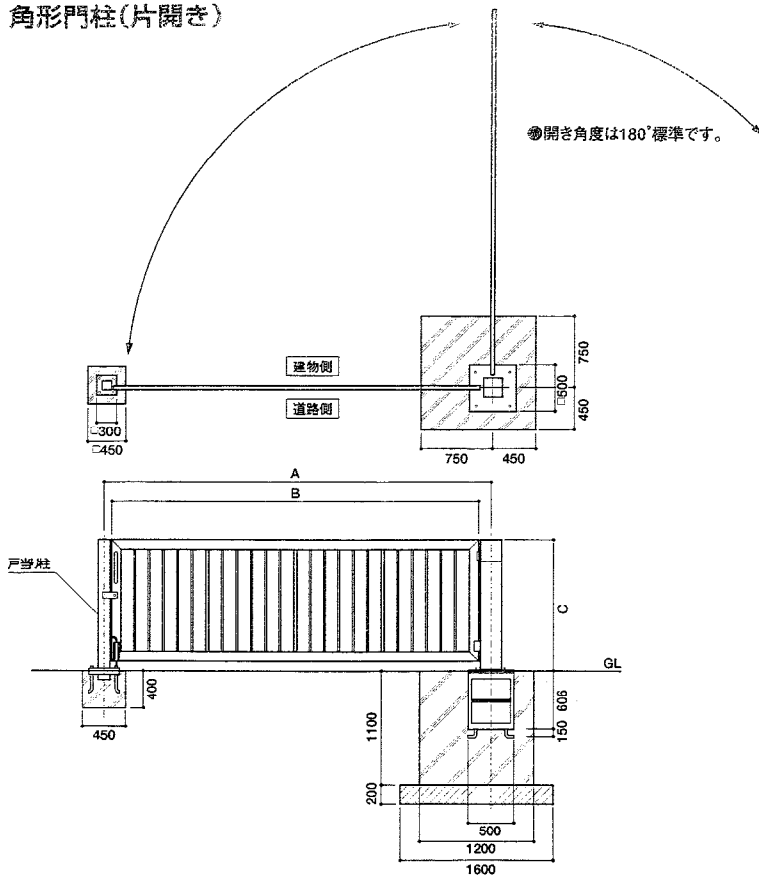
型式	A	B	C
H1300×W3000	3220	3000	1300
H1300×W4000	4220	4000	
H1300×W5000	5220	5000	
H1300×W6000	6245	6000	
H1500×W3000	3220	3000	1500
H1500×W4000	4220	4000	
H1500×W5000	5220	5000	

丸形門柱(両開き)



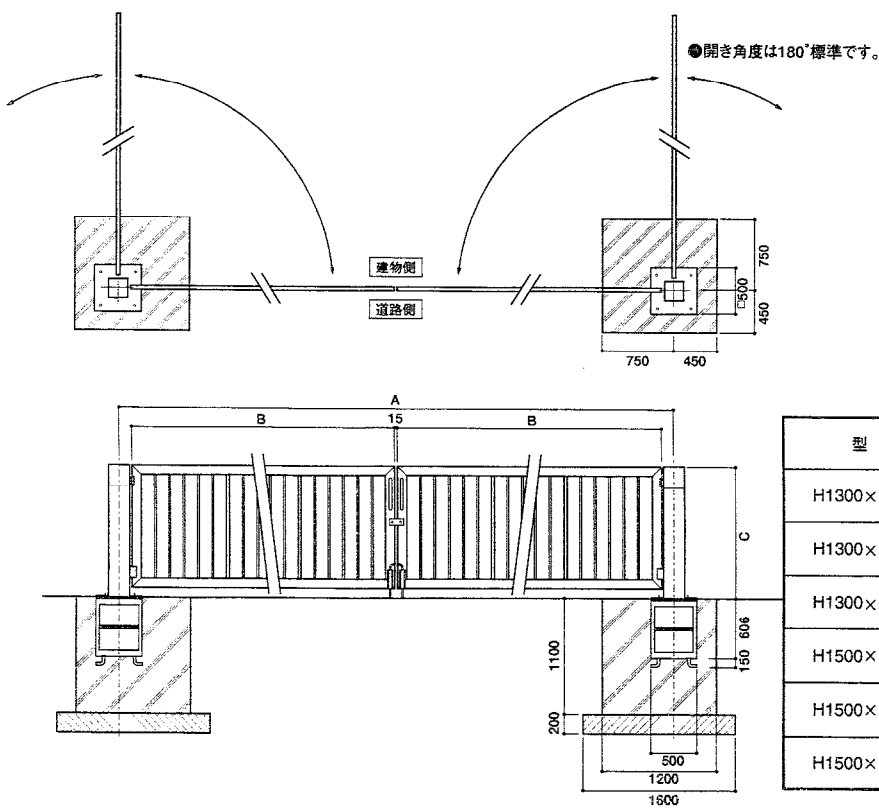
型式	A	B	C
H1300×W6000	6275	3000	1300
H1300×W8000	8275	4000	
H1300×W10000	10275	5000	
H1300×W12000	12325	6000	
H1500×W6000	6275	3000	1500
H1500×W8000	8275	4000	
H1500×W10000	10275	5000	

角形門柱(片開き)



型 式	A	B	C
H1300×W3000	3210	3000	1300
H1300×W4000	4210	4000	
H1300×W5000	5210	5000	
H1500×W3000	3210	3000	1500
H1500×W4000	4210	4000	
H1500×W5000	5210	5000	

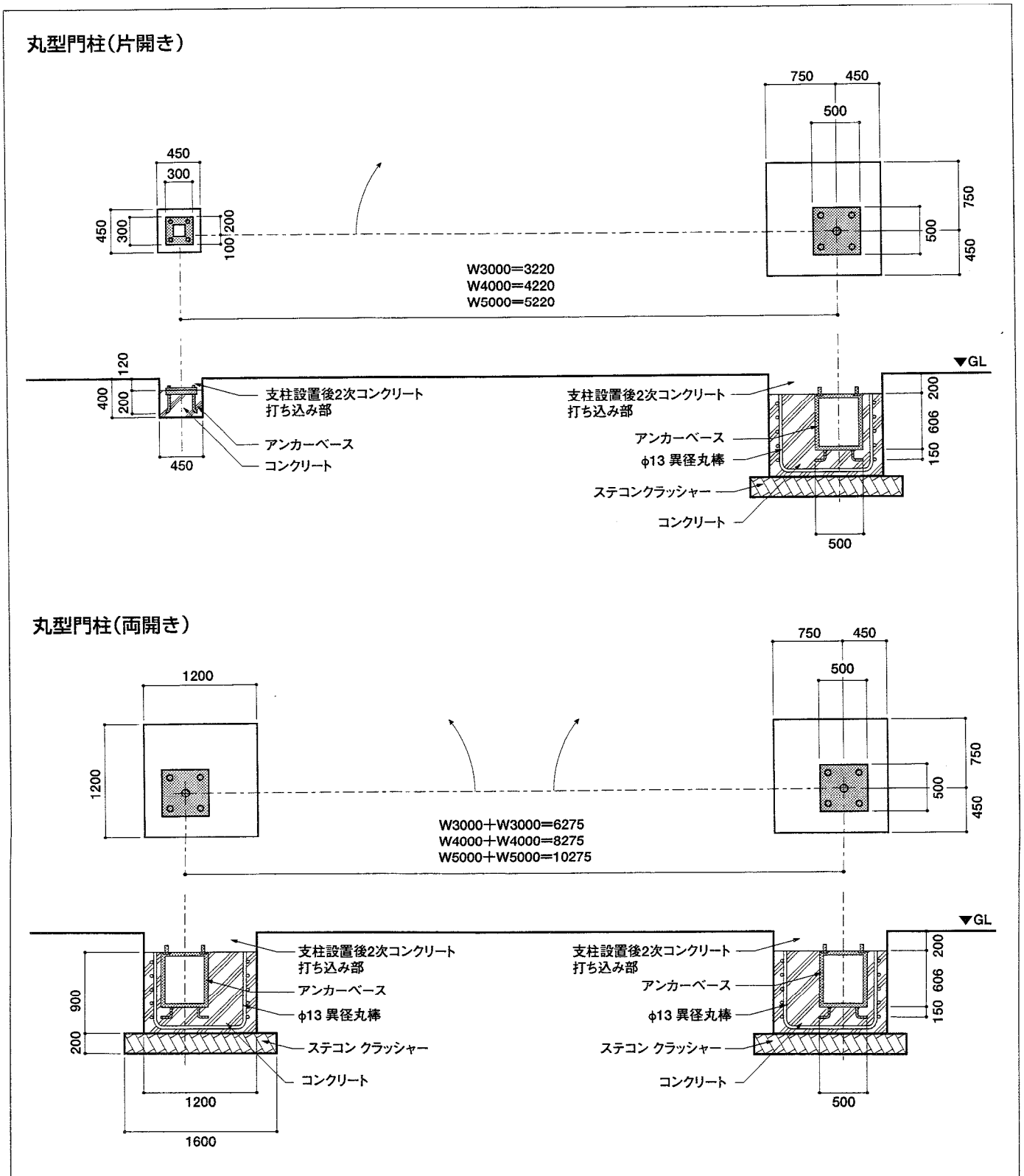
角形門柱(両開き)



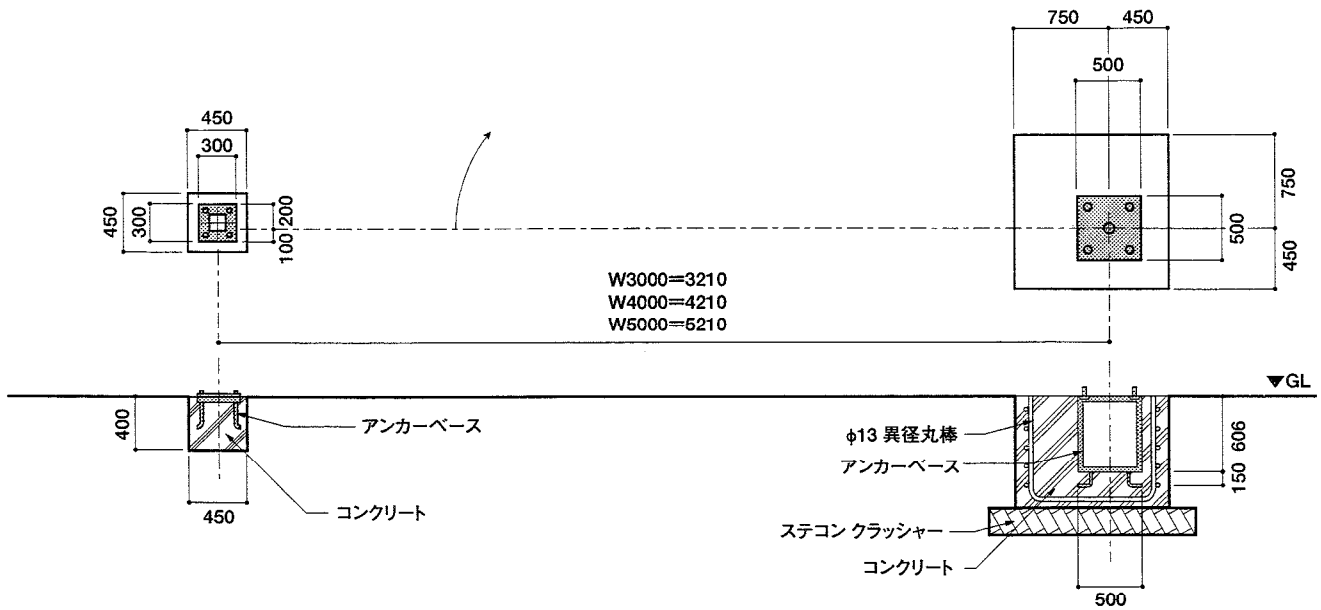
型 式	A	B	C
H1300×W6000	6255	3000	1300
H1300×W8000	8255	4000	
H1300×W10000	10255	5000	
H1500×W6000	6255	3000	1500
H1500×W8000	8255	4000	
H1500×W10000	10255	5000	

基礎の施工(参考)

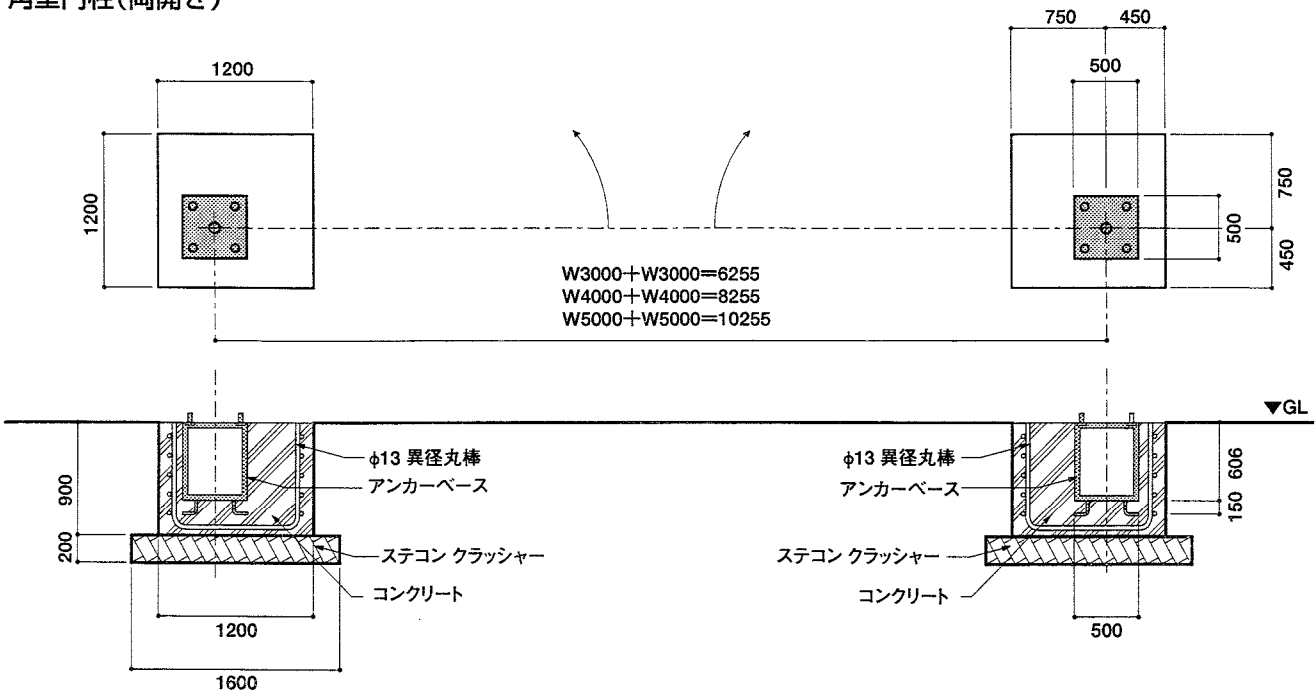
- アンカーベース上面の水平度と左右のアンカーベースの平行度に注意してください。
- アンカーベースの上面はGLより200mmさげた位置になるように設置してください。
- 片開きの戸当り柱のアンカーベースは、GLより120mm下げた位置になるように設置してください。
- 左右のアンカーベース間隔ピッチは、正確に出すよう注意してください。
- 支柱取付けボルト等にコンクリートが付着しないようにしてください。
- ベースプレート上面にφ80丸穴があります。コンクリート注入とエア抜きのためのものです。
- 支柱ベースプレートに矢印マークがあります。支柱建て込みの際、矢印が向き合うようにしてください。



角型門柱(片開き)

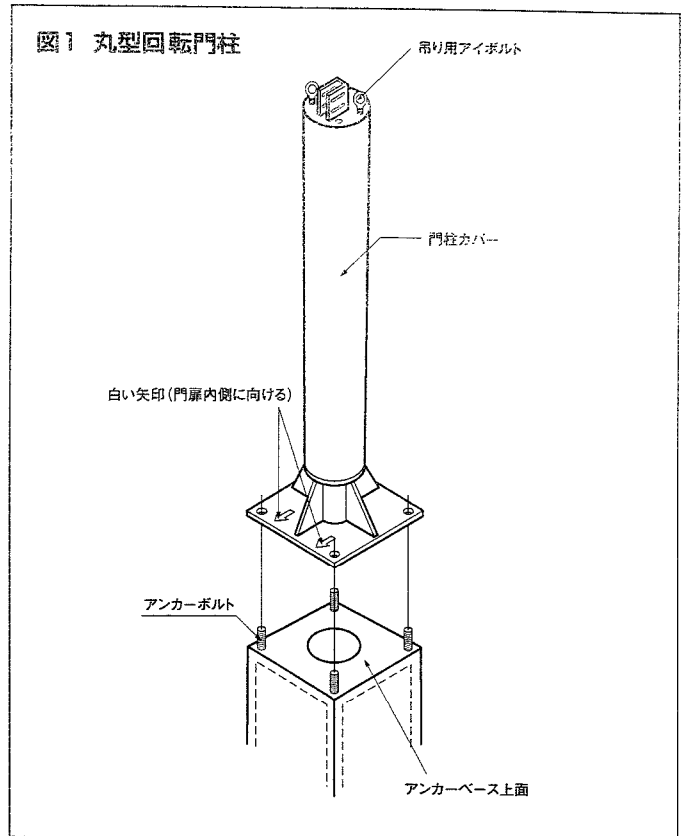


角型門柱(両開き)



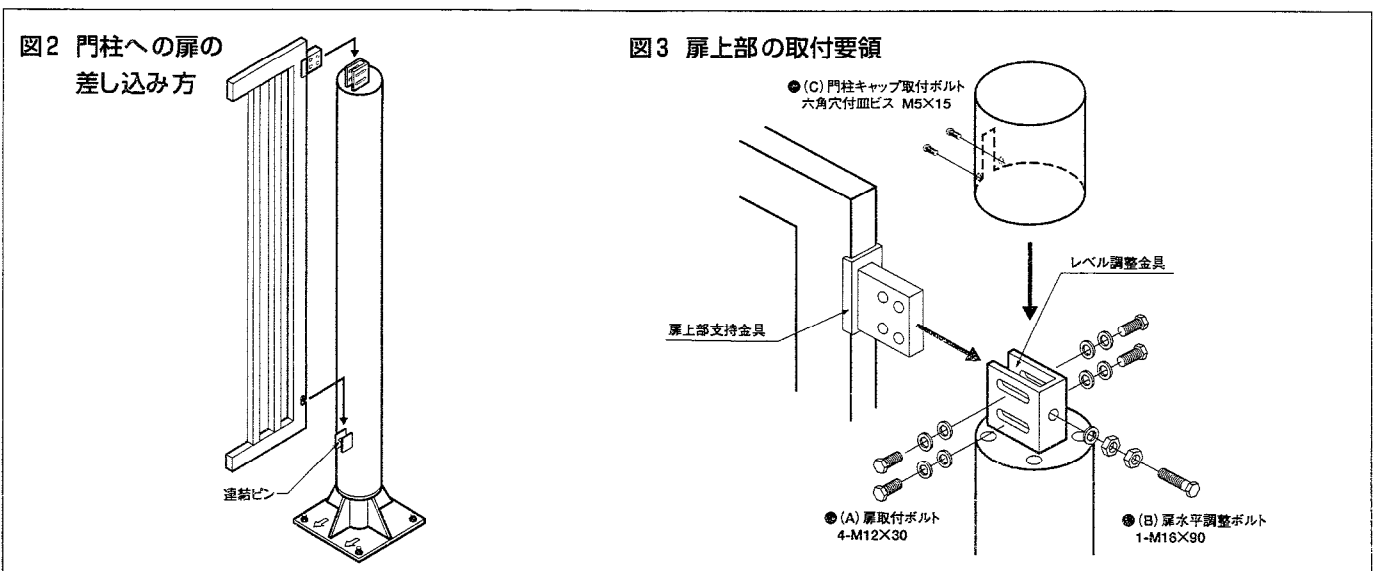
門柱の施工(回転門柱)

- ①回転門柱上面にセットされている吊り降ろし作業用のアイボルト2本を利用して、回転門柱を吊り下げます。
- ②アンカーベースにのせる際には、門柱ベース板の白い矢印をゲートの間口方向に向けてください。その際、扉の開く方向を確認してください。
(ゲート本体は外側に2°、内側には標準180°開きます)
- ③アンカーベース側に立っているボルト4本に合わせて門柱ベースをのせ、M20ナット・スプリングワッシャー・平ワッシャーでしっかり固定してください。
但し、門柱カバー側面を基準にして、水平をとらないでください。(門柱カバーは回転させるため、若干のブレがあります)
- ④回転門柱固定後、吊り降ろし作業用アイボルト2本を備え付けのボルト2-M12×30、2本と取り替えて締め込みます。



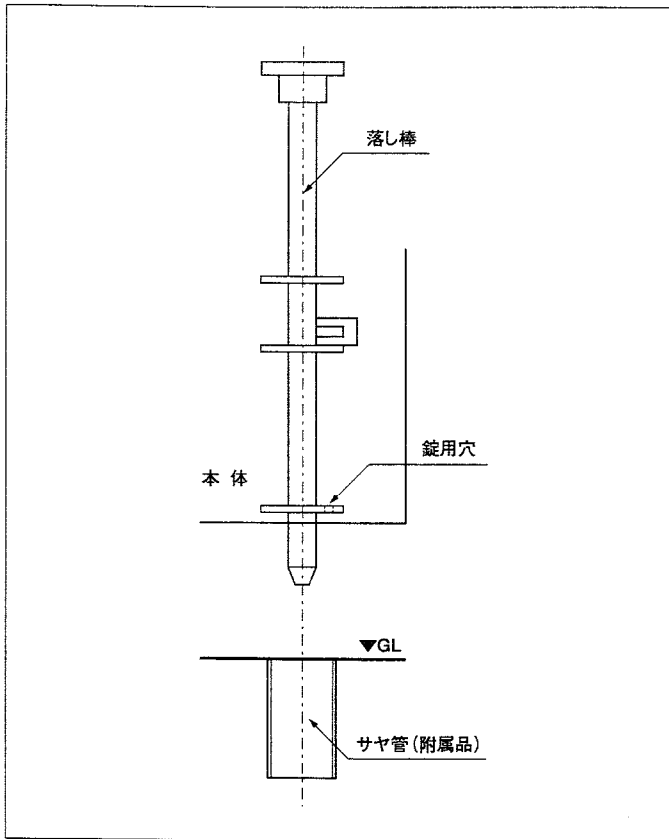
扉の施工

- ①扉中央部を帯ロープ等でキズ付かないように吊り上げ、門柱に対して水平に降ろします。
- ②図2のように下側の連結ピンに扉切込部をさし込みます。
- ③図3のように扉上部支持金具を門柱上部のレベル調整金具の間に入れます。
- ④(A)扉取付ボルトと(B)扉水平調整ボルトで扉上部支持金具と門柱のレベル調整金具を仮締めします。
- ⑤(B)扉水平調整ボルトを調整して、扉の水平を出し、ダブルナットでしっかり固定します。調整しきれない場合は、ライナー等を使いベースプレートの高さを調整して扉の水平を出します。
- ⑥扉の水平を調整しきれない場合はベースプレート下にライナー等スペーサーを入れて調整してください。
- ⑦扉の高さ・内掛金具の掛かり具合等、扉が正常に作動する事をよく確認した上で、(A)扉取付ボルト及び回転門柱のアンカーボルトM20ナット(片開きの場合、戸当り柱はM12ナット)を本締めしてください。
- ⑧扉の取付・開閉具合・回転門柱内のボルトの締め具合等を確認してください。
- ⑨(C)門柱に門柱キャップ取付ボルトで門柱キャップを取付けます。

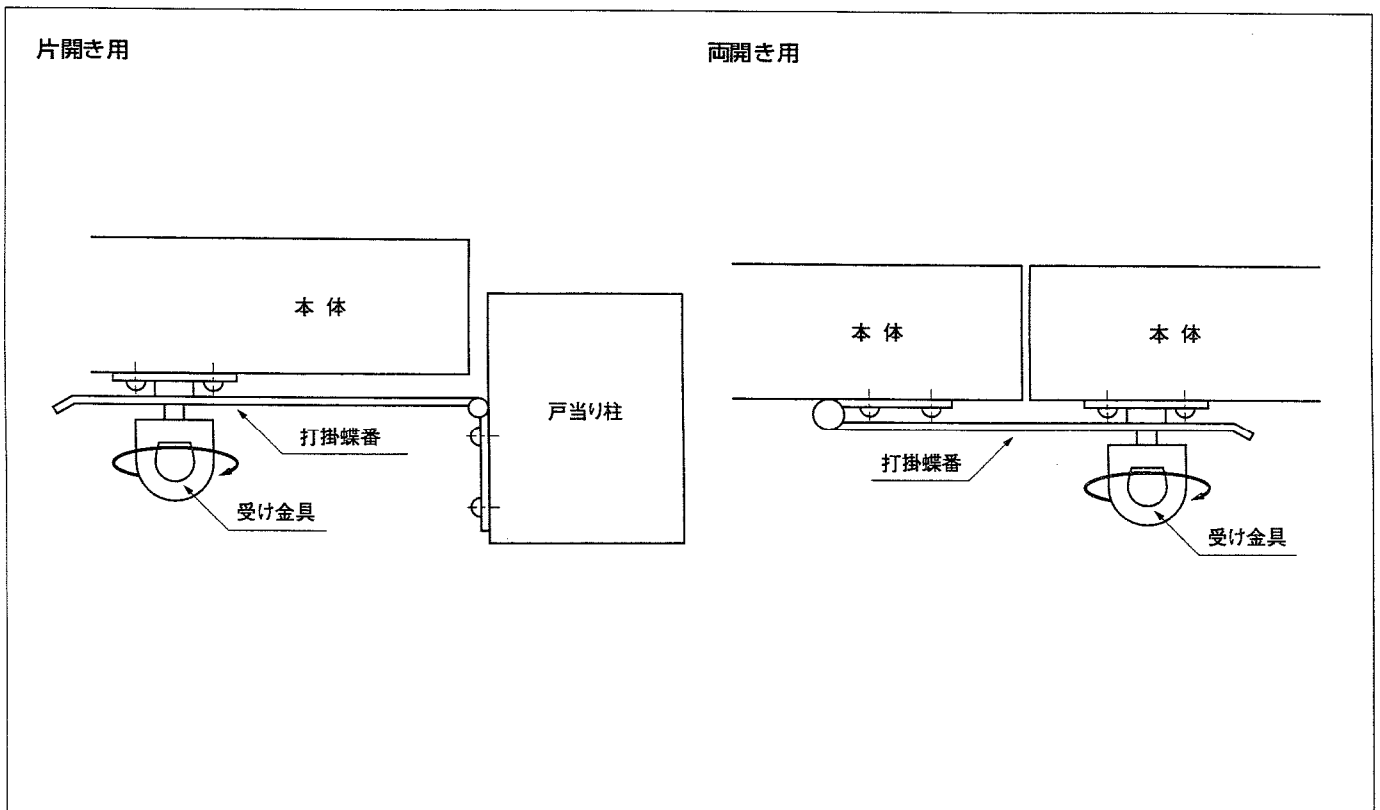


落し棒の施工

- 門扉の調整が全て完了したのち、落し棒を落し、位置決めをして付属のサヤ管を地面に埋設してください。



打掛け金具



●施工工事店様、販売店様へのお願い

—お願い—

この説明書は施工完了後、下記の欄へ必要事項を記入してお施主様へお渡してください。

施工完了日	年	月	日
施工工事店	TEL()		—
販売店	TEL()		—
商品名			

この商品についてのお問い合わせ、ご相談は下記の窓口でも承っておりますので、ご遠慮なくお問い合わせください。

工事店様へ

- 仕上げ後、本体についているモルタル等は、完全に拭き取ってください。硬化後拭き取りますと表面を痛めますのでご注意ください。
- 施工終了後、この取扱説明書は施主様へお渡してください。

施主様へ

- 月一回程度のお手入れで美しさが長く保てます。汚れの軽い場合は、水にぬらした柔らかいぞうきん等で軽く拭き取ってください。
- 目立つ汚れの場合は、中性洗剤を薄めた液で汚れを落とし、洗剤が残らぬよう拭き取ってください。

新日軽株式会社

〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-1
(ゲートシティ大崎 ウエストタワー)

お客様商品相談室
フリーダイヤル……………0120(37)2534
東日本エクステリア支店……03(5759)2211
〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-1
ゲートシティ大崎 ウエストタワー23階

西日本エクステリア支店……06(6380)9275
〒564-0052 大阪府吹田市広芝町4-34
江坂第一ビル1F

九州エクステリア支店………092(482)8581
〒812-0016 福岡県福岡市博多区博多駅南2-9-11
山善ビル5F

札幌支店 011-219-7511
東北住宅建材支店 022-297-3364
北越住宅建材支店 076-237-0122
長野支店 026-224-2878
埼玉支店 048-688-4156
東関東支店 043-247-1251
北関東支店 027-328-2881
東京支店 03-5759-2216
横浜支店 045-641-3381
静岡支店 054-289-6117
名古屋支店 052-731-1911
大阪支店 06-6390-1331
岡山支店 086-243-1243
中国支店 082-544-4134
四国支店 087-833-7611
九州支店 092-712-8191
特需営業総括部 03-5769-8033

●電話番号、住所は移転等やその他の理由で変更になる場合があります。ご了承ください。